

地方独立行政法人神戸市民病院機構  
第3期中期目標期間（令和元～5年度）の  
業務実績に関する評価結果

## 目 次

はじめに	・・・ 1
全体評価および項目別評価（大項目評価）理由	・・・ 3
項目別評価（大項目評価）	
第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために とるべき措置	・・・ 8
1 本市の基幹病院・中核病院としての役割を踏まえた医療の提供	
2 共通の役割	
中央市民病院の役割を踏まえた医療の提供	・・・ 10
西市民病院の役割を踏まえた医療の提供	・・・ 11
西神戸医療センターの役割を踏まえた医療の提供	・・・ 12
神戸アイセンター病院の役割を踏まえた医療の提供	・・・ 13
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置	・・・ 14
1 優れた専門職の確保と人材育成	
2 効率的な業務運営体制の構築	
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	・・・ 15
1 経営改善の取り組みと経常収支目標の達成	
2 経営基盤の強化	
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置	・・・ 16
1 西市民病院の建替え整備	
関連指標一覧	・・・ 17

## はじめに

神戸市は、地方独立行政法人法第 28 条第 2 項第 1 号の規定に基づき、地方独立行政法人神戸市民病院機構の第 3 期中期目標期間（令和元年度～令和 5 年度）の業務の実績に関する評価を実施した。

評価に際しては、地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会条例第 2 条第 2 号に基づき、地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会の評価に関する意見を聴取し、評価を行った。

### 地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	役 職 等
委員長	松 尾 貴 巳	国立大学法人神戸大学 理事・副学長
職務代理者	河 原 和 夫	国立大学法人東京医科歯科大学 名誉教授
委 員	伊 藤 文 代	医療法人社団洛和会 TQM 支援センター部長
	今別府 敏 雄	元 厚生労働省政策統括官
	沼 部 美由紀	株式会社クロシェホールディングス 代表取締役
	橋 本 佐与子	認定 NPO 法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事
	堀 本 仁 士	一般社団法人 神戸市医師会会長

### 中期目標期間における全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、中期目標の全体的な達成状況について、記述式による評価を行う。

### 中期目標期間における大項目評価

- S：中期目標を十分に達成し、特筆すべき成果が得られている
- A：中期目標を十分に達成している
- B：中期目標を概ね達成している
- C：中期目標の達成には至っていない
- D：中期目標の達成に至っておらず、抜本的な改善を要する

### 各年度における大項目評価（令和元事業年度業務実績評価～令和 5 事業年度業務実績評価）

- S：中期目標・中期計画の達成に向けて、特に評価すべき進捗状況にある（全ての項目の評点が「3」以上で、「5」の評点の項目がある）
- A：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる（全ての項目の評点が「3」以上である）
- B：中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる（全ての項目の評定が「2」以上で、「3」以上の評点の割合が 9 割以上である）
- C：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている（全ての項目の評点が「2」以上で、「3」以上の評点の割合が 5 割以上 9 割未満である）
- D：中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている又は重大な改善すべき事項がある（全ての項目の評点が「2」以上でかつ「3」以上の評点の割合が 5 割未満、又は「1」の評点の項目がある）

## 小項目評価

- 5：年度計画を十分に達成し、特筆すべき成果が得られている
- 4：年度計画を十分に達成している
- 3：年度計画を概ね達成している
- 2：年度計画の達成に至っていない
- 1：年度計画の達成に至っておらず、抜本的な改善を要する

### 第3期中期目標に係る業務の実績に関する全体評価 および項目別評価（大項目評価）理由

**【評価】**

**全体として中期目標を達成した**

（理由）

令和元～5年度の各事業年度における全体評価において、5年連続で、年度計画及び中期計画のとおり順調に進捗していると認められた。とりわけ、「市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置」については、共通項目のほか、「中央市民病院」「西市民病院」「西神戸医療センター」「神戸アイセンター病院」についてもS評価としている。

なお、項目別評価（大項目評価）理由については、下記のとおりとする。

○市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
事業年度評価結果 (大項目)	S	S	S	S	S	S	S
	中央市民病院の役割を踏まえた医療の提供						
	S	S	S	S	S	S	S
	西市民病院の役割を踏まえた医療の提供						
	A	S	S	S	S	S	S
	西神戸医療センターの役割を踏まえた医療の提供						
	A	S	S	S	S	S	S
	神戸アイセンター病院の役割を踏まえた医療の提供						
	S	S	S	S	S	S	S

神戸市民病院機構は地方独立行政法人化以降、その特性を生かし、意思決定の迅速性、機動性及び柔軟性を発揮して、市民の生命と健康を守る使命を果たしてきた。とりわけ、新型コロナウイルス感染症対策について、必要な施設・設備の整備を行うとともに、感染の波に合わせた病床運営をするための迅速かつ柔軟な職員配置を行うなど、高度・専門医療と両立しながら中核的な役割を果たした。

救急医療については、新型コロナウイルス感染拡大の困難な状況にありながら、市の要請に応じた感染症患者の受入と両立する形で、救急医療の提供に努めた。中央市民病院では、市内で唯一の重症等特定病院として、新型コロナウイルス感染症の重症患者の受入が可能な臨時病棟（36床）を設置・運用しながら、日本屈指の救命救急センターとして「全国救命救急センター評価」において10年連続1位に選ばれるなど、救急受入体制の強化を図った。西市民病院及び西神戸医療センターにおいても、軽症・中等症の新型コロナウイルス感染症患者の受入を行うとともに、院内救急体制の改善・再整備を図り、令和5年度には、過去最高の救急車搬送件数を達成するなど、24時間365日の救急受入体制を強化した。

災害医療については、令和6年1月に発生した能登半島地震に伴い、中央市民病院よりDMATを派遣したほか、中央市民病院、西市民病院、西神戸医療センターより、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士を派遣し、病院や避難所等における避難者への医療提供活動を行うなど、震災を乗り越えた経験に基づく災害医療の提供に取り組んだ。

また、小児・周産期医療については、中央市民病院では総合周産期母子医療センターとして、西市民病院及び西神戸医療センターでは、地域の中核病院として、ハイリスク妊娠・分娩、新型コロナウイルス感染症陽性者への対応を行うとともに、小児救急輪番の役割を着実に果たした。

がん治療については、3病院で導入している手術支援ロボット「ダヴィンチ」や、中央市民病院で令和4年11月に新たに導入した「hinotori」による手術をはじめ、高水準の治療を積極的に行うとともに、中央市民病院では、難治性のがん治療CAR-T細胞療法を開始した。また、中央市民病院では、平成31年4月より、西神戸医療センターでは令和3年4月より緩和ケアセンターを設置し、支援体制の充実を図った。

西市民病院では、認知症鑑別診断や介護生活相談を継続するなど市の政策である「認知症の人にやさしいまちづくり」に貢献し、また、糖尿病の予防・治療に関する様々な取り組みを行うなど、高齢化の進む市街地西部の中核病院として「治し・支える医療」の推進に努めた。令和4年度にはNIPT（非侵襲性出生前遺伝学的検査）の受入病院としての認定を受ける等、安定的な周産期医療を提供した。

西神戸医療センターでは、市内唯一の結核病床を有する病院として、新型コロナウイルス感染症の蔓延期においても、兵庫県全域、大阪府からの入院患者にも対応する等、着実に結核医療を提供した。また、令和3年度には、血液透析室の感染症対策工事を実施するとともに、令和5年度には他の感染症を合併している患者等を隔離できる個室化工事を行い、供用を開始するなど、設備面の強化を図った。

神戸アイセンター病院は、「遺伝性網膜ジストロフィーにおける遺伝子診断と遺伝カウンセリング」が、法人初となる先進医療B（新規技術）の承認を受け、令和5年度に保険収載されたことや、iPS細胞を用いた臨床研究において3種類の移植手術を実施するなど、眼科専門領域を網羅した診療体制のもと、質の高い医療を提供するとともに、治験・臨床研究においても大きな成果を挙げた。経営状況においても、令和5年度には、平成30

年度から6期連続黒字を達成し、令和6年6月には、連続黒字等の経営実績や地域医療の確保に重要な役割を果たしたとして、自治体立優良病院会長表彰を受けた。

### ○業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

事業年度評価結果 (大項目)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
	A	A	A	A	S	A	A

職員の能力向上等への取り組みでは、職員が必要な知識や技術を習得できるよう、資格取得支援制度や留学制度等を活用するとともに、令和3年度には事務職員のキャリアパスの策定、令和4年度にはOJT研修制度を構築するなど、職員の資質向上のための取り組みを推進した。

また、優れた専門職を確保するため、新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて、新世代の職員や即戦力として活躍できる人材を確保したほか、学校訪問や病院見学会のオンライン開催、「特別推薦選考」の増員や予定人数よりも多い採用を実施するなど、積極的な採用活動を行った。

市民病院間における情報連携体制の強化については、4病院の医療情報システムの最適化に向け、令和3年度に法人本部に「DX推進室」を設置し、法人全体のDXの推進に努めた。

また、中央市民病院、西市民病院、西神戸医療センターにおいて、端末の不審な挙動を監視するシステム等を導入するとともに、サイバー攻撃に対する訓練の実施やBCPの策定を行うなど、サイバー攻撃対策についてソフト・ハード両面において強化を図った。

### ○財務内容の改善に関する事項を達成するためにとるべき措置

事業年度評価結果 (大項目)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
	A	A	A	A	A	A	A

新型コロナウイルス発生に伴い一般診療が制限される厳しい状況のなか、補助制度を運用する県・市と連携をし、必要な財源を確保した。また、令和2年度から令和4年度にかけては、市の要請に応じて新型コロナウイルス感染症患者の受入を継続して行いながらも、入院・外来とも受入患者数を徐々に回復させ、医業収益の改善に努めた結果、令和2年度から令和4年度については経常損益黒字を確保し、また、単年度資金収支は令和元年度から令和4年度まで黒字を継続するに至った。

令和5年度においては、同感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症へ変更され、通常の医療提供体制へ移行し、入院患者数・外来患者数とも回復傾向にあるものの、これまでの診療制限の影響による紹介患者数の減少や、同感染症対応への補助金の大幅減（前年

度比約▲87億円)、診療報酬上の特例が廃止されたこと、DX推進等に伴う減価償却費の増等も影響し、経常損益は44億円の赤字、当期純損益は45億円の赤字、単年度資金収支は71億円の赤字となった。

さらに、世界情勢を背景としたエネルギー価格の高騰、経済・物価動向に伴う経費等の大幅な増嵩等、病院を取り巻く経営環境は厳しさを増している状況ではあるが、同感染症5類移行後においても、引き続き同感染症患者の受入を行うとともに、柔軟な病床運用で段階的に通常診療の回復を図りながら、地域連携の推進により、紹介率・逆紹介率の向上に努めたことや、積極的な救急受入を行った結果、法人全体では入院・外来合わせて前年度よりも約3%多くの患者に対応し、令和5年度決算における法人全体の医業収益は前年度比で約31億円増加し、医業収支も約4億円改善した結果、単年度経常損益は計画値を未達成であったが、医業収支比率は4病院とも計画値を達成することとなった。

結果的に、5か年における経常損益が約64.9億円、資金収支が約48.6億円と、大幅な黒字を達成した。

また、安定的な経営基盤の維持のため、常任理事会において、月次決算報告等を行い、経営改善に関して活発な議論を展開するとともに、理事会を定期的に開催し、迅速な意思決定と組織の目標と課題の共有化を図った。

さらに、第3期中期計画の投資計画に基づき、手術支援ロボットの増設や放射線医療機器をはじめとする医療機器の更新や施設設備の改良等、計画的な投資を行った。

### ○その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

事業年度評価結果 (大項目)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
	—	—	A	A	A	A	A

西市民病院の建替え再整備については、令和2年度から令和3年度にかけて実施された「西市民病院(市街地西部の中核病院)のあり方検討に係る有識者会議」における「移転新築が望ましい」との報告を受け、市が策定した「新西市民病院整備基本方針」(令和3年8月)を基に、「新西市民病院整備基本構想」(令和3年11月)、「新西市民病院整備基本計画」(令和5年2月)を策定し、基本設計を進めるなど、着実に準備を進めた。

### 【今後の展望と課題】

第4期中期目標では、新たに、新興感染症等への対応、働き方改革や医療DXの推進、情報セキュリティ対策強化について目標を設定している。

令和6年度からの第8次医療計画においても、5疾病5事業に、新たに、新興感染症発生・まん延時における医療を加えた5疾病6事業とされるなど、感染症対策は非常に重要となっている。新たな感染症が発生した際にも、引き続き感染症医療に対して本市と連携しながら取り組んでいただきたいと考えている。

また、令和6年4月より、医師の働き方改革が本格的にスタートし、医療を取り巻く環境は一層厳しいものとなっている。引き続き、医療の質の維持・向上に努め、高い患者満足度を達成するとともに、優れた専門職の確保と人材育成を行い、医師の働き方改革を進め、職員の働きやすい環境づくりを着実に進めていただきたい。

ポストコロナにおける患者の受診動向が大きく変化し、入院患者数・外来患者数ともに回復傾向にあるものの、コロナ禍前の令和元年度と比較して、減少したままとなっていることや、世界情勢を背景としたエネルギー価格の高騰、経済・物価動向に伴う経費等の大幅な増嵩等、ポストコロナにおける病院の経営環境は厳しく、財務状況については大きな課題であるが、DXの活用も踏まえた柔軟な病床運営や、地域包括ケアの推進も含めた地域医療機関との連携強化等により、入院・外来とも引き続きより多くの患者への医療の提供を目指しながら、固定費の縮減にも留意し、持続可能な病院運営を行うことで、引き続き、安心安全な医療の提供に努め、市民の生命と健康を守るという使命を果たしていただきたい。

市民に対して提供するサービス・業務の質の向上においては、今後も質の高い標準医療及び政策的医療を提供するとともに、地域包括ケアシステムの推進に向けて地域完結型医療を推進していく必要がある。また、財務内容の改善においては、4病院それぞれが年度ごとの経常収支目標を達成することにより、法人全体で目標期間を通じて収支を均衡させるよう取り組む必要がある。

今後も、理事長のリーダーシップのもと、地方独立行政法人としての意思決定の迅速性、機動性及び柔軟性をいかに発揮し、引き続き市民の生命と健康を守るという使命を果たしていただきたい。

大項目	第2	市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置					
事業年度評価結果 (大項目)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
	S	S	S	S	S	S	S

達成状況 (判断理由)	<p><b>【神戸市の判断理由】</b> 別紙のとおり</p>
	<p><b>【目標期間における主な実績】</b></p> <p>1 本市の基幹病院・中核病院としての役割を踏まえた医療の提供</p> <p>(1) 救急医療・災害医療 救急医療については、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れながらも、安定した救急医療体制を構築し、各病院の機能と役割に応じた救急医療を提供した。中央市民病院では、市内で唯一の重症等特定病院として、新型コロナウイルス感染症の重症患者の受け入れが可能な臨時病棟（36床）を設置・運用するほか、日本屈指の救命救急センターとしての役割を發揮し、厚生労働省より発表された「全国救命救急センター評価」において10年連続1位に選ばれた。西市民病院及び西神戸医療センターにおいても、軽症・中等症の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行うとともに、救急外来の設備改修等を行い、救急受入体制を強化した。 災害医療については、それぞれの病院で平時よりBCP（事業継続計画）を意識した訓練等に取り組み、危機対応能力の向上を図った。令和6年1月1日に発生した能登半島地震へは中央市民病院よりDMAT（災害派遣医療チーム）の派遣を行い、さらに中央市民病院、西市民病院、西神戸医療センターより複数回にわたり医療スタッフの派遣を行った。</p> <p>(2) 小児・周産期医療 地域医療機関との連携及び役割分担のもと、市民が安心して子供を産み育てられるような質の高い小児・周産期医療の提供を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症陽性者の受け入れにも対応した。中央市民病院では総合周産期母子医療センターとして、県立こども病院等と連携し、ハイリスクをはじめあらゆる出産への対応を行い、西市民病院及び西神戸医療センターでは、地域の中核病院として、小児救急輪番を維持するとともに、リスクの高い妊娠・分娩への対応を行った。</p> <p>(3) 5疾病（がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病及び精神疾患）に対する専門医療の提供 地域医療機関との役割分担及び連携のもと、各病院が保有する医療機能に応じて、5疾病に対応した専門医療を提供した。がん治療においては、3病院で手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術をはじめ高水準の治療を積極的に行うとともに、中央市民病院では、手術支援ロボット「hinotori」の導入や難治性のがん治療CAR-T細胞療法を実施し、西神戸医療センターでは緩和ケアセンターの設置により支援体制の充実等を図った。西市民病院では糖尿病教室や地域連携パスの活用等、糖尿病の予防・治療に関する様々な取り組みを行った。</p> <p>(4) 地域包括ケアシステム推進への貢献 中央市民病院、西市民病院、西神戸医療センターは地域医療支援病院として、地域連携懇話会やオープンカンファレンス、医療機関への訪問等を通し地域医療機関のニーズを把握し、各病院の役割に応じた患者の紹介・逆紹介を行うとともに、患者が安心して地域で療養できるように、地域の介護施設や訪問看護ステーション等との連携を強化した。</p>

<p>達成状況 (判断理由)</p>	<p>2 共通の役割</p> <p>(1) 安全で質の高い医療を提供する体制の構築  各病院において、患者の安全を最優先に万全な対応がとれるよう、医師及び看護師等からなる医療安全管理室を中心に、医療安全に関する情報収集及び分析や、医療安全対策の徹底及び医療安全文化の醸成に取り組んだ。発生したインシデント等については、各病院で再発防止に努めるとともに、機構全体でも医療安全会議を開催し、事例の分析と共有を図り医療事故の予防や再発防止に取り組んだ。  また、クリニカルパスを適宜見直す等、パスの適用率向上に向けた取り組みを行うとともに、DPCデータ等を活用した分析を行う等、安全で質の高い医療の提供に努めた。</p> <p>(2) 患者の権利を尊重し、信頼と満足が得られる体制の構築  患者満足度調査や意見箱により得られた患者ニーズについては、院内全体にも情報共有し、適宜必要な改善を行うとともに接遇研修を実施する等、患者サービスの向上に取り組んだ。中央市民病院では、Webでの予約変更システムの導入やポータライナーの混雑緩和に向けた無料バスの運行を開始、西市民病院では、自動精算機の導入や院内食堂・コンビニのリニューアル、西神戸医療センターでは、患者支援センターの開設や採血採尿受付システムの導入、神戸アイセンター病院では、自動精算機の導入や外来待合椅子のリニューアル等、各病院において様々な取り組みを行い、利便性の向上を図った。  また、タブレット端末を用いた遠隔医療通訳システムの活用や、パンフレット等の多言語化を図り、外国人患者が安心して受診できる体制を継続したほか、医療費後払いシステムの導入やマイナンバーカードによる医療保険のオンライン資格確認を開始した。</p> <p>(3) 市民への情報発信  各病院において、市民向け広報紙の定期的な発行やホームページのリニューアルを行い、診療情報や病院の新しい取り組み等を紹介した。新型コロナウイルス感染症流行により、各種教室等は一時的に対面での開催は減少したが、それを契機として動画チャンネルの積極的活用など多様な情報提供に努めた。  また、令和2年度には西市民病院が開院50周年、令和3年度には中央市民病院が新築・移転10周年、令和4年度には神戸アイセンター病院が開院5周年を迎え、記念行事の開催や動画作成等を行った。  令和6年3月には中央市民病院が100周年を迎え、ホームページや三宮MINT神戸の大型スクリーンで記念動画を一般公開した。</p>
------------------------	---

大項目	中央市民病院	中央市民病院の役割を踏まえた医療の提供					
事業年度評価結果 (大項目)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
	S	S	S	S	S	S	S

達成状況 (判断理由)	<p><b>【神戸市の判断理由】</b> 別紙のとおり</p>
	<p><b>【目標期間における主な実績】</b></p> <p>(1) 日本屈指の救急救命センターとしての役割の発揮 救急救命センターとして、24時間365日体制の救急医療を継続するため、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行いながらも病床運営の効率化等に努め、厚生労働省より発表された「全国救急救命センター評価」においては、10年連続で1位に選ばれた。また、救急患者の円滑な搬送及び受け入れを行うため、脳卒中、胸痛、産科、小児科のホットラインにより受け入れ体制の強化を図った。</p> <p>(2) メディカルクラスターとの連携による先進的ながん治療等の提供 メディカルクラスターの中核病院として、高度専門病院との病連携を継続した。がん治療については、手術支援ロボット「ダヴィンチ」に加え、令和4年度に「hinotori」を導入し、身体への負担が少ない手術や化学療法による治療を行うとともに、難治性のがん治療CAR-T細胞療法を実施、また専任の遺伝カウンセラーによる遺伝相談外来を行う等、患者に最適な医療を提供した。</p> <p>(3) 神戸医療産業都市の中核機関として治療・臨床研究の更なる推進 さらなる治験・臨床研究を推進するため「特定臨床研究審査委員会」を設置するとともに、品質管理部門を設置する等、管理・支援体制の強化を図った。 また、医療現場でのニーズをもとに医療機器等の開発に向けた企業との共同研究に取り組んだ。</p> <p>(4) 県立こども病院等と連携した高度な小児・周産期医療の提供 総合周産期母子医療センターとして、産科及び小児科のホットラインを継続するとともに、産科合併症のほか合併症妊娠等のハイリスク妊娠・出産、新型コロナウイルス感染症陽性者への対応を行った。 県立こども病院とは定期的な連携会議を開催し、両病院間での相互補完の連携体制を構築した。</p> <p>(5) 第一種感染症指定医療機関としての役割の発揮 市内唯一の第一種感染症指定医療機関として、市、県及び地域医療機関と連携を図り、速やかに患者を受け入れられる体制を整備し、市民の安全確保に取り組んだ。とりわけ、新型コロナウイルスへの対応については、市内で唯一の新型コロナウイルス感染症重症等特定病院として、全国で初めてすべての病床で重症患者の受け入れが可能な臨時病棟を設置・運営し、重症・中等症患者を中心に対応した。また、新型コロナウイルス感染症診療に関するノウハウをまとめたマニュアル本の出版や(令和3年度)、動画配信等を通して地域への情報提供にも取り組んだ。</p> <p>(6) 経営改善の取組みと経営収支目標の達成 令和2年度からDPC管理室の体制を強化しコーディングの精度を高める等の経営改善に取り組むとともに、診療報酬改定の機会を捉え新たな加算や上位基準の取得を進めた。また、働き方改革や南館の有効活用に関する方策を検討する等、安定した経営基盤の確立に取り組んだ。費用削減においては、民間の共同購入組織に加盟し、診療材料の一部を共同購入の対象品へと切り替える等、材料費の削減を図った。</p>

大項目	西市民病院	西市民病院の役割を踏まえた医療の提供					
事業年度評価結果 (大項目)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
	A	S	S	S	S	S	S

達成状況 (判断理由)	<p><b>【神戸市の判断理由】</b> 別紙のとおり</p>
	<p><b>【目標期間における主な実績】</b></p> <p>(1) 地域の患者を24時間受け入れる救急医療の提供 市街地西部（兵庫区、長田区、須磨区）の二次救急病院として、24時間365日の救急医療の提供を着実にいき、令和2年度以降は、全職種・全診療科による連携のもと、軽症・中等症の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行った。 救急患者の受け入れ状況に関する把握・分析を継続するとともに、令和元年度には循環器内科のオンコール体制の整備や脳神経外科の開設、令和2年度には救急外来の拡張工事を実施、救急隊との意見交換会の開催等、救急受入体制を強化した。</p> <p>(2) 地域のハイリスク出産に対応できる周産期医療の提供 市街地西部唯一の周産期対応総合病院として、正常分娩だけでなく基礎疾患等を持つ妊婦のほか、新型コロナウイルス感染症陽性の妊婦等、リスクの高い分娩にも対応するとともに、令和4年度にはN I P T（非侵襲性出生前遺伝学的検査）の受け入れ病院としての認定を受ける等、安定的な周産期医療を提供した。また、(株)ファミリアとの連携による出産時のアメニティの充実を図ったほか、ホームページに産科特設サイトを開設し積極的な情報発信を行った。</p> <p>(3) 地域需要に対応した小児医療の提供 神戸市が実施する小児二次救急輪番において長田区で唯一の体制確保を継続し、安定的な小児救急医療を提供した。 令和2年度にはアレルギー専門医による体制を強化したほか、病児保育の運営を開始し地域の病児の受け入れを行う等、地域需要に応じた小児医療体制を整備した。</p> <p>(4) 認知症患者に対する専門医療の提供 認知症鑑別診断や介護生活相談等を継続し「認知症の人にやさしいまちづくり」の推進に寄与した。また、音楽療法や回想法の予防事業を開始したほか、認知症疾患医療センターとの合同研究会や地域との事例検討会を開催する等、地域の認知症疾患への対応強化に努めた。さらに認知症への理解を深めるため、「認知症へのそなえ」をテーマにした市民公開講座を開催・動画配信を行い啓発活動に取り組んだ。また、レカネマブ診療に向けて体制を整えた。</p> <p>(5) 生活習慣病患者の重症化予防に向けた取組み 糖尿病地域連携バスの運用に加え、令和元年度からは新たに適切な薬物療法の選択・栄養相談を1回の受診で行うワンタイム連携の運用を開始し、地域医療機関との連携強化を図った。また、糖尿病教室の継続や動画配信による情報提供を行うとともに、令和2年度より出張糖尿病チェックを開始し、未受診者への受診勧奨や啓発活動等、生活習慣病の早期治療や重症化予防に取り組んだ。</p> <p>(6) 経営改善の取組みと経営収支目標の達成 I C UからH C Uへの病床機能の変更（令和元年度）や、地域包括ケア病棟の急性期一般病棟への転換（令和2年度）等、診療機能・体制の効率化を図るとともに、診療報酬の新たな加算の取得等により収益増加を図った。また、診療材料の切り替えや契約内容の見直しによる費用の縮減等にも継続して取り組んだ。</p>

大項目	西神戸医療センター	西神戸医療センターの役割を踏まえた医療の提供					
事業年度評価結果 (大項目)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
	A	S	S	S	S	S	S

達成状況 (判断理由)	<p><b>【神戸市の判断理由】</b> 別紙のとおり</p>
	<p><b>【目標期間における主な実績】</b></p> <p>(1) 地域の医療機関と連携した24時間体制での救急医療の提供 令和元年度に救急科を新設し、救急体制の強化を行うことで時間内救急への対応力を強化した。 令和2年度以降は、救急医療体制の制限を最小限に留めながら、軽症・中等症の新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを行うとともに、迅速な初療診断に必要なCT室の整備（令和3年度）や、感染症対応が可能な診察室の増室・トリアージブースの設置（令和4年度）等を行い、救急外来機能の向上を図った。また、各種ホットライン、救急車の受け入れ状況の把握・分析、救急隊との意見交換会等を継続した。</p> <p>(2) 地域における小児救急・小児医療の拠点機能の提供 新型コロナウイルス感染症蔓延期においても、連日の小児救急外来を継続し、市内だけでなく明石市や三木市などの周辺地域からも受け入れ、安定的な小児救急体制を維持した。小児救急輪番については、毎週土曜日を担当していたが、令和元年度からは第2・第3水曜日も担当することで、神戸西地域の中核病院としての役割を果たした。</p> <p>(3) 地域周産期母子医療センター機能の提供 地域医療機関での対応が困難な合併症妊婦や切迫早産等のハイリスク妊娠・ハイリスク分娩に加え、新型コロナウイルス感染症妊婦の受け入れも行う等、周辺地域の需要に応じた質の高い周産期医療を提供した。令和3年度に出産早期の育児不安の解消を図るため、産後2週間健診を導入した。 また、(株)ファミリアのサポートクリニックとして、オリジナル肌着一体型ベビー服の導入や、出産の思い出づくりのためのフォトブースを設置し、アメニティの充実を図った。</p> <p>(4) 幅広いがん患者への支援と集学的治療の提供 手術支援ロボット（ダヴィンチ）による手術やリニアックによる放射線治療等、低侵襲の高度専門医療を提供した。また、令和元年度からは社会保険労務士による相談会を開始し、令和3年度には「緩和ケアセンター」を設置して支援体制や情報提供の充実を図る等、国指定の地域がん診療連携拠点病院として、総合的ながん診療を実施した。</p> <p>(5) 結核医療の中核機能の提供 新型コロナウイルス感染症の蔓延期においても、結核病棟は病床を維持し、神戸市のみならず兵庫県全域、大阪府からの入院患者にも対応する等、市内唯一の結核病床を有する病院として引き続き総合的な結核医療を提供した。 設備面においては、結核患者にも対応できる手術室等に加え、令和3年度には血液透析室の感染症対策工事を実施するとともに、令和5年度には他の感染症を合併している患者等を隔離できる個室化工事を行い利用を開始した。</p> <p>(6) 経営改善の取組みと経営収支目標の達成 高齢化等による地域医療需要の変化に対応し、地域医療機関との連携強化、救急車の積極的な受け入れによる新規患者の確保に努めた。令和3年度からは、病院長直轄の経営企画会議を開始し、上位の施設基準の取得や費用の最適化等の経営改善策を実施した。また、在庫数量の適正化及び削減、また高額材料については預託在庫化や在庫定数の適正化など、費用削減に取り組んだ。</p>

大項目	アイセ ンター 病院	神戸アイセ ンター病院の役割を踏 まえた医療の提供					
事業年度評価結果 (大項目)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
	S	S	S	S	S	S	S

達成状況 (判断理由)	<p><b>【神戸市の判断理由】</b> 別紙のとおり</p>
	<p><b>【目標期間における主な実績】</b></p> <p>(1) 標準医療から最先端の高度な眼科医療まで質の高い医療の提供 眼科専門領域を網羅した診療体制のもと、質の高い医療を提供するとともに、24時間365日体制での眼科救急や、中央市民病院と連携し全身的な症状を有する眼疾患への対応を行った。また、地域医療機関との連携を強化するとともに、院内の体制整備や運用見直しを行い、手術や硝子体注射の件数増加にも対応した。 令和3年9月には、遺伝子パネル検査システムの臨床実装を目的とした「遺伝性網膜ジストロフィーにおける遺伝子診断と遺伝カウンセリング」が、市民病院機構初となる先進医療B（新規技術）として承認され、令和5年度に保険収載された。</p> <p>(2) 治験・臨床研究を通じた次世代医療の開拓 i P S細胞を用いた臨床研究の実施に向けた準備を進め、3種類の移植手術を実施した（網膜色素変性に対する同種i P S細胞由来網膜シート移植（令和2年10月に1例目実施）、網膜色素上皮（R P E）不全症に対する同種i P S細胞由来R P E細胞懸濁液移植（令和3年3月に1例目実施）、網膜色素上皮（R P E）不全症に対する同種i P S細胞由来R P E細胞凝集紐移植（令和4年11月に1例目実施））。また、基礎研究から臨床研究まで幅広く実施するため、研究室の確保や研究管理支援体制を整備した。</p> <p>(3) 視覚障害者支援施設等と連携した患者の日常生活支援 生活・就労相談等橋渡し業務、視覚的補助具・補装具の紹介や患者への情報発信など患者の社会生活への円滑な復帰支援を進めることを目的とし、視覚障害者に対する相談支援業務を公益社団法人NEXT VISIONに委託して、視覚障害者への支援等を継続した。 視覚障害者が安全に移動できるように、移動援助ツール「ナビレンズ」の実証実験や、点字ブロック「s h i K A I」の院内各所への設置等、新しい取り組みを行った。 また、串刺し食や食器の色に配慮した食事の提供を行い、食事の嗜好調査では6年連続9割超の満足度を維持し、患者満足度調査では入院・外来ともに高い満足度を維持し、入院では6年連続100%となった。</p> <p>(4) 診療・臨床研究を担う未来の医療人材育成 業績に応じて研究費を配分する医師評価制度を継続するとともに、医師以外の部門においては、学会に参加しやすくするための研究費の配分ルールを整備し、積極的な学会発表や論文作成を促した。 また、令和2年度に機能向上推進室を設置し、医師による眼科疾患勉強会や神戸アイセ ンター構想を共有するための全職員を対象としたコンセプト研修等を実施したほか、連携大学院制度の活用や、国内・海外からの医師研修生を受け入れるなど若手人材の研究機会の確保にも努めたほか、令和4年度及び令和5年度に日仏合同学術セミナーを開催した。</p> <p>(5) 経営改善の取組みと経営収支目標の達成 手術や硝子体注射に関する運用見直しにより、さらなる診療機能の強化を図るとともに、診療報酬改定の機会を捉え、新たな加算や上位基準の取得を進め収益増加を図った。また、眼内レンズをはじめとした診療材料や硝子体注射薬の価格交渉による費用削減にも取り組み、開設準備費用のあった開院初年度を除き6期連続黒字を達成した。</p>

大項目	第3	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置					
事業年度評価結果 (大項目)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
	A	A	A	A	S	A	A

達成状況 (判断理由)	<p><b>【神戸市の判断理由】</b> 別紙のとおり</p>
	<p><b>【目標期間における主な実績】</b></p> <p>1 優れた専門職の確保と人材育成  (1) 職員の能力向上等への取り組み  すべての職員が必要な技術や知識を習得できるよう、各階層や職種ごとの研修を実施するとともに、事務職員のキャリアパスの策定（令和3年度）やOJT研修制度を構築（令和4年度）する等、職員の資質向上に努めた。また、資格取得支援制度や留学制度等を活用し、職員の能力向上への支援を継続した。  また採用試験についても、事務職員は選考の受験者負担を軽減するため、筆記の教養試験を廃止しSPIに変更し、技術職員は多様な人材を確保するため、常時募集を開始（令和5年度）した。看護職員は計画的な採用確保を実施するため、特別推薦制度を開始（令和2年度）するなど職員採用制度の多様化に取り組んだ。</p> <p>(2) 職員が意欲的に働くことのできる人事給与制度の構築  より職員が高いモチベーションを持って業務に従事し、組織全体のパフォーマンス向上を図れるよう、人事評価制度の見直しを実施するなど、職員の能力及び業績に基づく人事給与体制の構築に取り組んだ。  働き方改革の推進では、ワークライフバランスの確保に向け、休暇制度の整備や院内保育所・病児保育室の運営を継続するとともに、医師をはじめ医療者の負担軽減への取り組みとして、医師事務作業補助者の配置や、職種間の連携や役割分担を進めた。</p> <p>(3) 人材育成等における地域貢献  医師、看護師、薬剤師等医療系学生を積極的に受け入れ、教育病院として人材育成に貢献するとともに、看護師の復職支援のための取り組みを継続した。</p> <p>2 効率的な業務運営体制の構築  (1) PDCAサイクルが機能する仕組みの構築及び法令順守（コンプライアンス）の徹底  理事長によるヒアリングを通じた年度計画の達成状況及び課題の把握等、機構内における情報共有を図り、PDCAを意識した取り組みを進めた。また、常任理事会や理事会における月次決算や決算見込、新型コロナウイルス感染症への対応、時間外勤務状況及び休暇取得状況等の報告において、病院ごとの運営状況を把握するとともに、課題が発見された際は迅速な対応を行った。  コンプライアンス推進本部会議やコンプライアンス研修を実施し、法令遵守への取り組みを進めたほか、監事監査、会計監査、情報セキュリティ監査等の内部監査を実施した。</p> <p>(2) 市民病院間における情報連携体制の強化  4病院の医療情報システムの最適化に向け、令和3年度には法人本部に「DX推進室」を設置し、4病院間の患者ID紐づけシステム、情報統合基盤の構築や機構統一のグループウェア、電子決裁・文書管理システムの導入等、法人全体のDXの推進に取り組んだ。  高度化する情報セキュリティリスクに対しては、情報セキュリティポリシーの改定、モバイル端末や外部セキュリティに関する内容等の個別基準や委託先管理の強化のために情報セキュリティ遵守特記事項を策定した。  また、サイバー攻撃対策についても現状確認や今後の対応方針について検討し、端末の不審な挙動を監視するシステム等の導入、サイバーBCPの策定、訓練の実施等必要な対応を順次進めた。  システム連携以外にも、各部門での連携会議（看護部長会、薬剤部長会、医事課長会等）を開催し、意見交換や課題共有を行った。</p>

大項目	第4	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置					
事業年度評価結果 (大項目)	R1	R2	R3	R4	R5	法人自己評価	神戸市評価
	A	A	A	A	A	A	A

達成状況 (判断理由)	<p><b>【神戸市の判断理由】</b> 別紙のとおり</p>
	<p><b>【目標期間における主な実績】</b></p> <p>1 経営改善の取組みと経営収支目標の達成  経営に関する取組みとしては、毎月開催している常任理事会で、病院ごとの経営指標を報告し、情報共有と課題の抽出に取り組んだ。また、年度途中で適切な執行管理ができているかどうか、四半期ごとの決算見込みや予算編成時などの機会を通じて、各病院と法人本部に対して理事長ヒアリング、本部長ヒアリングを実施し、新たな課題への対策や適切な執行管理に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応としては、補助制度を運用する兵庫県・神戸市と連携をしながら、同感染症患者を受け入れる3病院（中央・西・西神戸）で共通する事項は、法人本部で取りまとめて調整するなどし、病院の機能維持と経営の安定化のために必要な財源を確保した。</p> <p>各病院においては、院長ヒアリングを年に数回実施し、各診療科や部門における現状分析や課題の共有を図るとともに、診療報酬請求業務に関するDPCデータの活用や外部精度調査を実施する等、増収対策に取り組んだ。</p> <p>決算概要としては、診療報酬改定や消費税の改定等、医療を取り巻く環境が大きく変化中、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症という未知の脅威に対し職員が一丸となって対応し、神戸市の同感染症対応の中核的な役割を担った。</p> <p>同感染症患者受入れのための空床確保や一部病棟閉鎖、手術の延期などで大幅な患者数の減少に伴い収益が減少する一方、国・神戸市の病床確保や医療物資購入に対する支援事業が創設されたことにより、一定の補助収入が確保できた。</p> <p>その結果、法人全体の経常損益は、令和元年度は▲3.1億円、令和2年度は9.5億円、令和3年度は54.1億円、令和4年度は48.7億円、令和5年度は▲44.3億円、第3期中期計画期間中の累積経常損益は64.8億円となった。</p> <p>また、法人全体の単年度資金収支は、令和元年度は5.8億円、令和2年度は23.9億円、令和3年度は64.5億円、令和4年度は25.4億円、令和5年度は▲71.0億円、第3期中期計画期間中の累積資金収支は48.7億円となった。</p> <p>2 経営基盤の強化</p> <p>(1) 収入の確保及び費用の最適化  常任理事会における月次決算の報告において、新規患者数や救急患者の受け入れ状況等の各種指標を確認のうえ、単価の向上や収益の確保につなげた。</p> <p>また、令和元年度からは年度当初に各病院において経営改善計画を策定し、新型コロナウイルスの影響で目標達成が厳しい中、年度当初に策定した経営改善計画や改善項目に取り組んだ。加えて、機構全体での医薬品の値引き交渉や、診療材料の4病院合同価格交渉・本部一括入札を実施する等、4病院体制のメリットを活かした費用削減に取り組んだ。</p> <p>(2) 計画的な投資の実施と効果の検証  第3期中期計画の投資計画に基づき、院内でのヒアリングを実施しながら、手術支援ロボットの増設や放射線医療機器をはじめとする医療機器の更新や施設設備の改良等、計画的な投資を行った。</p>

大項目	第5	その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置					
事業年度評価結果 (大項目)	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	法人自己評価	神戸市評価
	-	-	A	A	A	A	A

達成状況 (判断理由)	<p><b>【神戸市の判断理由】</b> 別紙のとおり</p>
	<p><b>【目標期間における主な実績】</b> 1 西市民病院の建替え整備 西市民病院の将来ビジョンを検討するにあたり、神戸市において、西市民病院の今後のあり方を検討する有識者会議が開催され、市街地西部の中核病院としての役割を果たしていくためには、移転新築が望ましいとの報告書が提出された。 その後、有識者会議での報告書や市民及び議会の意見を踏まえた「新西市民病院整備基本方針」（令和3年8月）、市街地西部の中核病院として今後担うべき役割や診療機能の方向性をまとめた「新西市民病院整備基本構想」（令和3年11月）、新病院に必要な機能や施設等をまとめた「新西市民病院整備基本計画」（令和5年2月）を策定し、令和10年度中の開院を目標に基本設計等の準備を進めた。</p> <p><b>【新病院の概要】</b> (1) 移転先 神戸市長田区若松町6丁目及び日吉町1丁目（若松公園の一部）</p> <p>(2) 主な設備概要 ・病 床 数：358 床（現病院と同様） ・診 療 科：現診療科を維持し、放射線治療科を新設</p> <p>(3) コンセプト ①救急医療、感染症・災害医療の強化 ②地域包括ケアシステムの推進 ③まちづくりや地域活性化に寄与</p>

目標値・関連指標一覧（令和元年度～令和5年度）

関連指標No.	項目	中央市民病院					西市民病院					西神戸医療センター					神戸アイセーター病院					法人本部						
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
第1-1-1 (1) 救急医療・災害医療																												
1	救急外来患者数 (人)	31,408	17,413	21,230	26,086	26,611	15,710	12,585	11,818	13,222	13,991	26,990	18,330	19,019	20,588	23,237												
2	うち入院 (人)	7,868	6,017	7,272	8,036	7,855	3,332	3,302	3,398	3,278	4,306	4,122	3,440	3,304	3,262	3,974												
3	うち救急車受入 (人)	9,154	6,267	7,034	8,737	8,112	3,942	3,227	3,106	4,013	4,247	4,661	4,045	3,813	4,241	5,243												
4	救急車搬送応需率 (%)	98.7	96.7	92.7	90.8	94.1	81.7	76.6	70.8	65.3	75.4	78.0	75.6	66.2	63.0	67.2												
5	災害訓練回数 (回)	34	33	35	67	78	42	40	41	40	40	36	28	25	20	17												
6	災害訓練参加者数 (人)	1,322	631	931	1,135	1,248	740	751	752	861	737	526	410	412	329	271												
7	災害研修回数 (回)	7	7	11	8	8	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0												
8	被災地等への派遣件数 (件)	0	0	0	1	14	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1												
第1-1-1 (2) 小児・周産期医療																												
9	小児科患者数 入院延 (人)	12,102	6,208	8,663	8,955	9,051	2,885	1,824	1,937	1,765	2,253	8,018	5,109	6,371	6,303	7,106												
10	小児科患者数 外来延 (人)	12,189	8,362	9,265	8,851	9,065	7,905	5,557	5,605	5,124	5,504	18,738	13,541	15,891	17,704	17,639												
11	小児科救急患者数 (人)	1,229	493	818	1,215	1,165	476	226	338	415	535	6,724	2,562	3,804	4,751	5,868												
12	うち入院 (人)	937	301	478	556	756	173	121	272	247	347	849	369	504	542	747												
13	NICU患者数 (人)	3,010	2,545	2,738	2,780	2,470																						
14	分娩件数 (件)	827	580	633	671	571	408	335	301	285	304	564	462	434	371	324												
15	うち帝王切開 (件)	303	234	247	275	257	86	81	70	75	77	187	171	158	140	133												
16	ハイリスク妊娠件数 (実患者数) (件)	101	59	91	101	97	29	31	31	22	23	81	70	102	89	52												
17	ハイリスク分娩件数 (実患者数) (件)	123	97	109	178	164	37	51	45	29	28	91	75	76	66	55												
18	助産師外来患者数 (人)	133	15	5	77	165	493	286	387	387	506	127	0	0	19	59												
第1-1-1 (3) 5 疾病に対する専門医療の提供																												
19	がん退院患者数 (人)	4,441	3,946	3,699	3,937	4,192	2,080	1,770	1,789	1,984	2,060	3,066	2,918	2,739	2,770	2,892												
20	脳卒中退院患者数 (人)	1,249	978	1,029	1,184	1,154	60	77	57	62	51	390	363	363	307	295												
21	急性心筋梗塞退院患者数 (人)	147	89	107	154	121	15	13	10	9	13	56	69	52	42	68												
22	糖尿病退院患者数 (人)	107	79	68	74	67	161	117	91	113	114	111	96	111	137	132												
23	身体合併症受入延患者数 (人)	2,593	1,815	2,229	2,559	3,427	162	48	173	81	322	44	39	52	46	40												
24	認知症鑑別診断数 (件)	209	152	152	118	94	353	253	255	323	354	288	151	179	155	214												
25	検査人数 (CT) (人)	53,930	43,152	47,497	51,343	52,030	17,888	16,601	16,488	18,270	19,889	25,265	27,027	27,834	26,139	28,300												
26	検査人数 (MRI) (人)	21,729	18,131	19,413	19,243	19,921	4,838	4,230	4,320	4,435	4,901	10,903	10,536	11,676	11,425	11,653												
27	検査人数 (PET) (人)	3,318	2,752	2,695	2,746	2,710						1,159	1,155	1,202	1,092	1,072												
28	検査人数 (心臓血管造影) (人)	929	645	557	562	588	184	169	106	101	141	576	427	373	374	379												
29	検査人数 (脳血管造影) (人)	715	613	656	632	569						181	135	148	151	192												
30	がん患者化学療法数 (人)	10,854	11,714	12,454	11,411	12,637	2,653	2,554	2,220	3,066	3,544	7,199	7,130	7,320	6,955	6,755												
31	手術件数 (入院・外来合計) (件)	10,422	7,454	8,528	9,313	9,702	3,251	2,893	2,700	2,999	3,230	6,272	5,564	5,504	5,795	6,190	3,036	2,496	2,962	3,125	3,320							
32	薬剤管理指導件数 (件)	23,784	17,600	19,005	19,920	20,865	14,794	12,681	12,459	13,538	15,057	20,710	17,607	17,328	17,913	18,973												
33	栄養指導件数 (合計) (件)	4,187	3,191	3,819	3,750	3,392	3,191	3,531	3,816	4,379	4,244	2,744	3,326	3,856	3,548	4,821												

目標値・関連指標一覧（令和元年度～令和5年度）

関連指標No.	項目	中央市民病院					西市民病院					西神戸医療センター					神戸アイセンター病院					法人本部					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
34	リハビリ実施件数（合計）（件）	158,223	160,969	195,009	181,330	191,549	39,832	41,855	43,268	50,111	59,515	52,583	54,021	58,267	54,545	67,123											
35	口腔ケア実施件数（件）	523	128	177	143	175	2,405	2,112	1,785	2,758	2,883	179	160	109	232	209											
第1-1-（4）地域包括ケアシステム推進への貢献																											
36	紹介率（%）（KPI） （地域医療支援病院算定式による）	実績	72.4	74.4	68.5	70.9	78.1	57.9	54.0	56.6	55.5	62.2	77.7	75.8	74.9	73.1	86.6	59.6	61.3	62.6	60.7	64.1					
		目標値	66.0	72.5	72.5	72.5	69.0	54.0	55.0	55.0	55.0	55.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0										
37	逆紹介率（%）（KPI） （地域医療支援病院算定式による）	実績	137.5	150.8	125.3	123.5	132.4	108.0	118.6	121.4	113.4	117.3	82.1	81.0	81.1	81.0	97.8	57.1	65.2	61.5	72.8	93.6					
		目標値	120.0	130.0	135.0	135.0	120.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	75.0	75.0	75.0	75.0	78.0										
38	地域連携バス適用患者数（人）	212	190	202	190	179	60	46	27	39	55	190	175	152	154	206											
39	地域医療機関向け広報誌発行回数（回）	4	4	4	4	5	14	12	13	14	14	13	13	13	13	13	4	4	4	4	4						
40	オープンカンファレンス開催回数（回）	42	15	21	17	20	30	7	27	18	18	69	6	15	27	41	0	1	1	1	1						
41	オープンカンファレンス院外参加人数（人）	1,597	404	669	558	547	753	169	591	511	625	1,099	104	241	362	399	0	138	186	68	65						
42	退院調整実施件数（件）	2,064	2,137	3,742	4,507	4,540	2,245	2,070	2,011	2,790	3,540	1,379	1,315	1,429	1,602	2,079											
43	ケアマネジャーとのカンファレンス件数（件）	206	86	127	226	237	221	110	114	252	199	416	51	245	241	249											
第1-2-（1）【中央市民病院の役割を踏まえた医療の提供】日本屈指の救命救急センターとしての役割の発揮																											
44	救急外来患者数（人）	31,408	17,413	21,230	26,086	26,611																					
45	うち入院（人）	7,868	6,017	7,272	8,036	7,853																					
46	うち救急車受入（人）	9,154	6,267	7,034	8,737	8,112																					
47	救急車搬送応需率（%）	98.7	96.7	92.7	90.8	94.1																					
第1-2-（2）【中央市民病院の役割を踏まえた医療の提供】メディカルクラスターとの連携による先進的ながん治療等の提供																											
48	検査人数（PET）（人）	3,318	2,752	2,695	2,746	2,710																					
49	がん退院患者数（人）	4,441	3,946	3,699	3,937	4,192																					
50	がん患者化学療法数（人）	10,854	11,714	12,454	11,411	12,637																					
51	がん患者放射線治療数（人）	11,757	9,124	9,699	9,105	8,310																					
52	緩和ケア外来延患者数（人）	1,822	2,139	2,398	2,319	2,293																					
53	がん患者相談受付件数（件）	986	711	704	800	824																					
54	周辺病院からの紹介件数（件）	656	509	658	558	655																					
55	周辺病院への逆紹介件数（件）	1,727	1,403	1,454	1,441	1,610																					
第1-2-（3）【中央市民病院の役割を踏まえた医療の提供】神戸医療産業都市の中核機関として治験・臨床研究の更なる推進																											
56	治験実施件数（件）	167	169	180	168	127																					
57	受託研究件数（件）	170	149	141	146	183																					
58	臨床研究件数（件）	253	311	256	173	192																					
59	医師主導治験実施件数（件）	11	13	13	12	13																					
60	うち研究責任者としての実施件数（件）	3	3	1	1	0																					
61	特定臨床研究実施件数（件）	82	86	84	86	69																					
62	うち研究責任者としての実施件数（件）	4	8	7	3	5																					
63	論文掲載件数（件）	220	333	416	594	641																					

目標値・関連指標一覧（令和元年度～令和5年度）

関連指標No.	項目	中央市民病院					西市民病院					西神戸医療センター					神戸アイセンター病院					法人本部				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
64	学会発表件数 (件)	1,350	1,230	1,006	1,224	1,453																				
65	研究計画相談件数 (件)	81	96	99	134	140																				
66	英語論文校閲相談 (件)	153	219	217	204	195																				
67	データ入力実績 (件)	15,659	15,829	16,342	15,565	15,795																				
第1-2-（4）【中央市民病院の役割を踏まえた医療の提供】県立こども病院等と連携した高度な小児・周産期医療の提供																										
68	小児科患者数 入院延 (人)	12,102	6,208	8,663	8,955	9,051																				
69	小児科患者数 外来延 (人)	12,189	8,362	9,265	8,851	9,065																				
70	小児科救急患者数 (人)	1,229	493	818	1,215	1,165																				
71	うち入院 (人)	937	301	478	556	756																				
72	NICU患者数 (人)	3,010	2,545	2,738	2,780	2,470																				
73	分娩件数 (件)	827	580	633	671	571																				
74	うち帝王切開 (件)	303	234	247	275	257																				
75	ハイリスク妊娠件数（実患者数） (件)	101	59	91	101	97																				
76	ハイリスク分娩件数（実患者数） (件)	123	97	109	178	164																				
77	助産師外来患者数 (人)	133	15	5	77	165																				
第1-2-（5）【中央市民病院の役割を踏まえた医療の提供】第一種感染症指定医療機関としての役割の発揮																										
78	感染症延患者数（一類） (人)	0	0	0	0	0																				
79	感染症延患者数（二類） (人)	93	1,437	1,489	1,889	11																				
80	感染管理研修等実施回数 (回)	46	22	48	43	48																				
第1-3-（1）【西市民病院の役割を踏まえた医療の提供】地域の患者を24時間受け入れる救急医療の提供																										
81	救急外来患者数 (人)						15,710	12,585	11,818	13,222	13,911															
82	うち入院 (人)						3,332	3,302	3,398	3,278	4,306															
83	うち救急車受入 (人)						3,942	3,227	3,106	4,013	4,247															
84	救急車搬送応需率 (%)						81.7	76.6	70.8	65.3	75.4															
第1-3-（2）【西市民病院の役割を踏まえた医療の提供】地域のハイリスク出産に対応できる周産期医療の提供																										
85	分娩件数 (件)						408	335	301	285	304															
86	うち帝王切開 (件)						86	81	70	75	77															
87	ハイリスク妊娠件数（実患者数） (件)						29	31	31	22	23															
88	ハイリスク分娩件数（実患者数） (件)						37	51	45	29	28															
89	助産師外来患者数 (人)						493	286	387	387	506															
第1-3-（3）【西市民病院の役割を踏まえた医療の提供】地域需要に対応した小児医療の提供																										
90	小児科患者数 入院延 (人)						2,885	1,824	1,937	1,765	2,253															
91	小児科患者数 外来延 (人)						7,905	5,557	5,605	5,124	5,504															
92	小児科救急患者数 (人)						476	226	338	415	535															
93	うち入院 (人)						173	121	272	247	347															
94	小児アレルギー教室開催回数 (回)						8	4	9	9	6															

目標値・関連指標一覧（令和元年度～令和5年度）

関連指標No.	項目	中央市民病院					西市民病院					西神戸医療センター					神戸アイセンター病院					法人本部					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
第1-3-(4) 【西市民病院の役割を踏まえた医療の提供】 認知症患者に対する専門医療の提供																											
95	認知症鑑別診断数 (件)					353	253	255	323	354																	
96	専門医療相談件数 (件)					1,285	1,049	1,386	1,599	1,354																	
97	研修等の実施回数 (回)					21	6	8	10	9																	
98	認知症ケア件数 (件)					7,515	7,726	6,731	9,249	10,781																	
第1-3-(5) 【西市民病院の役割を踏まえた医療の提供】 生活習慣病患者の重症化予防に向けた取組み																											
99	成人病関連教室等開催件数 (件)					21	10	19	14	15																	
100	糖尿病地域連携バス連携診療所数 (箇所)					97	98	101	105	107																	
101	糖尿病地域連携バス連携症例数 (例)					574	621	652	687	708																	
第1-4-(1) 【西神戸医療センターの役割を踏まえた医療の提供】 地域の医療機関と連携した24時間体制での救急医療の提供																											
102	救急外来患者数 (人)										26,990	18,330	19,019	20,588	23,237												
103	うち入院 (人)										4,122	3,440	3,304	3,262	3,974												
104	うち救急車受入 (人)										4,661	4,045	3,813	4,241	5,243												
105	救急車搬送応需率 (%)										78.0	75.6	66.2	63	67												
第1-4-(2) 【西神戸医療センターの役割を踏まえた医療の提供】 地域における小児救急・小児医療の拠点機能の提供																											
106	小児科患者数 入院延 (人)										8,018	5,109	6,371	6,303	7,106												
107	小児科患者数 外来延 (人)										18,738	13,541	15,891	17,704	17,639												
108	小児科救急患者数 (人)										6,724	2,562	3,804	4,751	5,868												
109	うち入院 (人)										849	369	504	542	747												
第1-4-(3) 【西神戸医療センターの役割を踏まえた医療の提供】 地域周産期母子医療センター機能の提供																											
110	分娩件数 (件)										564	462	434	371	324												
111	うち帝王切開 (件)										187	171	158	140	133												
112	ハイリスク妊娠件数 (実患者数) (件)										81	70	102	89	52												
113	ハイリスク分娩件数 (実患者数) (件)										91	75	76	66	55												
114	助産師外来患者数 (人)										127	0	0	19	59												
115	低出生体重児数 (人)										86	75	73	65	54												
第1-4-(4) 【西神戸医療センターの役割を踏まえた医療の提供】 幅広いがん患者への支援と集学的治療の提供																											
116	検査人数 (PET) (人)										1,159	1,155	1,202	1,092	1,072												
117	がん退院患者数 (人)										3,066	2,918	2,739	2,770	2,892												
118	がん患者化学療法数 (人)										7,199	7,130	7,320	6,955	6,755												
119	がん患者放射線治療数 (人)										10,227	5,457	6,873	7,587	8,299												
120	緩和ケア外来延べ患者数 (人)										2,629	2,479	2,035	2,000	1,856												
121	がん患者相談受付件数 (件)										985	777	498	1,429	1,232												
第1-4-(5) 【西神戸医療センターの役割を踏まえた医療の提供】 結核医療の中核機能の提供																											
122	延患者数・入院 (結核) (人)										8,895	8,545	9,451	6,813	6,622												
123	延患者数・外来 (結核) (人)										236	194	202	106	105												

目標値・関連指標一覧（令和元年度～令和5年度）

関連指標No.	項目	中央市民病院					西市民病院					西神戸医療センター					神戸アイセーター病院					法人本部					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
124	新規患者数・入院（結核）（人）											144	132	144	114	108											
125	新規患者数・外来（結核）（人）											118	125	90	88	84											
126	結核病床利用率（%）											48.6	46.8	51.8	37.9	40.2											
第1-5-(1)【神戸アイセーター病院の役割を踏まえた医療の提供】標準医療から最先端の高度な眼科医療まで質の高い医療の提供																											
127	紹介患者数（KPI）（人/日）	実績														9.9	7.6	9.9	10.8	11.2							
		目標値														9.4	9.4	9.7	10.0	10.0							
128	逆紹介患者数（KPI）（人/日）	実績														9.5	8.1	9.8	13.0	16.4							
		目標値														7.6	7.6	9.3	9.6	11.0							
129	手術件数（入院・外来合計）（件）																3,036	2,496	2,962	3,125	3,320						
130	うち先進医療実施件数（件）																266	-	-	-	-						
131	硝子体注射件数（件）																2,571	2,963	3,561	3,770	4,044						
132	専門外来患者数（人）																18,496	16,201	16,173	15,091	14,659						
133	臨床懇話会・オープンカンファレンス院外参加者数（人）																17	155	243	137	134						
第1-5-(2)【神戸アイセーター病院の役割を踏まえた医療の提供】治験・臨床研究を通じた次世代医療の開拓																											
134	治験実施件数（件）																0	2	3	4	4						
135	受託研究件数（件）																2	4	4	4	4						
136	臨床研究件数（件）																22	31	35	36	38						
第1-5-(3)【神戸アイセーター病院の役割を踏まえた医療の提供】視覚障害者支援施設等と連携した患者の日常生活支援																											
137	ロービジョンケア施設との紹介実績（人）																159	309	309	391	352						
第1-5-(4)【神戸アイセーター病院の役割を踏まえた医療の提供】診療・臨床研究を担う未来の医療人材育成																											
138	論文掲載件数（件）																13	22	23	24	10						
139	学会発表件数（件）																78	56	81	116	154						
第1-6-(1) 安全で質の高い医療を提供する体制の構築																											
140	クリニカルパス適用率（%）（KPI）	実績	58.4	54.8	54.6	53.5	55.4	47.5	48.3	49.6	50.9	50.4	58.2	59.4	58.9	62.2	57.2	99.9	99.6	99.9	99.9	100.0					
		目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.9					
141	医療安全研修等実施回数（回）		98	24	58	59	50	12	8	4	5	4	769	911	218	265	430	3	4	4	4	4					
142	インシデントレポート数（件）		5,439	4,600	5,670	5,860	6,245	1,542	1,464	1,385	1,332	1,327	2,242	2,491	2,645	2,860	3,134	380	429	429	376	351					
143	うち医師の報告割合（%）		6.5	6.8	10.9	13.8	13.4	4.6	2.9	3.9	5.3	6.4	6.6	5.3	4.8	7.1	3.5	7.6	6.5	6.5	3.7	6.0					
144	職員1人当たりのインシデントレポート数（件/人）		3.4	2.8	3.3	3.6	3.2	2.5	2.3	2.5	2.1	2.0	2.6	2.9	2.4	3.2	3.4	6.4	6.5	6.5	5.5	5.1					
145	アクシデントレポート報告件数 ※（ ）内は合併症（治療上ある確率で不可避の症状）を含む（件）	実績	3	2	5	2	4	3	1	0	5	3	11	27	13	12	14	1	0	0	0	0					
		目標値	(4)	(2)	(5)	(3)	(4)	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(25)	(47)	(53)	(47)	(21)										
146	クリニカルパス数（種類）（種類）		459	476	464	484	483	237	221	219	222	226	276	276	274	273	272	44	47	47	54	56					
第1-6-(2) 患者の権利を尊重し、信頼と満足が得られる体制の構築																											
147	患者満足度調査結果（入院患者）（満足+やや満足）（%）		98.8	99.3	95.0	95.0	98.3	97.5	97.1	98.1	96.7	96.8	95.3	96.3	98.3	97.4	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
148	患者満足度調査結果（外来患者）（満足+やや満足）（%）		97.6	97.8	88.6	89.0	89.9	95.9	95.9	96.7	97.8	96.6	98.0	96.5	96.4	95.6	93.8	95.5	98.5	98.4	98.4	97.7					
149	患者応対研修等参加者数（人）		2,426	876	830	357	211	110	545	625	502	566	70	0	487	957	1,295	0	51	40	43	16					

目標値・関連指標一覧（令和元年度～令和5年度）

関連指標No.	項目	中央市民病院					西市民病院					西神戸医療センター					神戸アイセンター病院					法人本部				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
150	医療通訳実施件数 (件)	429	170	172	205	344	405	349	329	298	223	12	20	45	82	87	1	0	1	25	5					
第1-6-(3) 市民への情報発信																										
151	各種教室等開催回数 (回)	28	4	0	0	33	35	14	29	27	21	37	6	0	0	0			0	0	0					
152	市民向け広報発行回数 (回)	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	4	4	4	4	4					
153	ホームページアクセス回数 (回)	3,288,718	3,792,751	3,329,416	2,582,196	2,547,562	214,940	236,248	245,118	389,730	464,564	406,518	589,395	498,879	498,981	407,147	93,259	100,760	90,838	97,421	98,401					
第2-1-(1) 職員の能力向上等への取り組み																										
154	専門医数 (人)	332	364	403	449	427	123	126	129	133	145	162	167	166	169	191	10	8	10	11	11					
155	認定医数 (人)	194	205	215	245	214	88	89	77	68	71	70	77	92	93	98	6	7	8	8	5					
156	臨床教授等 (人)	19	20	25	27	26	5	2	5	6	5	4	4	4	4	5	2	2	2	2	2					
157	研修指導医数 (人)	145	142	126	155	147	45	41	38	39	41	117	140	103	104	142	4	2	3	2	3					
158	専門看護師数 (人)	12	12	15	15	16	5	5	5	7	6	6	7	7	8	7										
159	認定看護師数 (人)	30	34	33	32	32	10	11	11	11	11	14	14	14	14	15										
160	研究休職制度等利用者数 (人)	2	0	4	3	6	1	0	1	2	3	1	0	2	2	3	0	0	0	0	0					
161	資格取得支援制度利用者数 (人)	11	6	17	15	14	10	1	11	12	10	7	2	10	12	10	1	0	1	0	0				1	0
第2-1-(2) 職員が意欲的に働くことのできる人事給与制度の構築																										
162	医師事務作業補助者の配置数 (人)	92	89	96	88	96	26	30	29	29	34	14	18	21	29	37	11	12	12	14	14					
163	1人当たりの年次有給休暇消化数 (日/人)	9.1	12.9	12.8	14.5	12.4	9.0	12.6	12.7	14.5	13.0	8.4	10.4	10.6	13.6	11.5	11.5	11.1	11.5	14.5	17.9	10.6	10.8	12.3	14.7	13.0
164	健康診断受診率 (%)	100.0	99.9	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
第2-1-(3) 人材育成等における地域貢献																										
165	講師派遣数(延べ人数) (人)	1,381	992	1,144	1,177	1,144	157	74	62	58	58	228	174	60	236	150	44	29	16	52	53					
166	初期研修医数 (人)	39	36	34	34	34	16	17	15	18	19	19	20	19	19	20										
167	専攻医数 (人)	112	126	131	168	139	21	20	20	18	18	26	34	29	32	40	1	2	2	2	1					
168	学生実習等受入人数(医学部・歯学部生) (人)	784	284	650	796	971	300	16	30	151	157	367	36	283	299	349	14	12	0	34	90					
169	学生実習等受入人数(看護学生) (人)	3,885	1,375	2,121	3,301	3,454	2,030	998	1,200	2,087	1,612	2,855	1,712	1,458	1,992	2,450										
170	学生実習等受入人数(薬学部生) (人)	2,318	1,980	2,255	2,219	1,463	849	825	550	605	509	859	330	660	631	631										
171	学生実習等受入人数(臨床検査) (人)	237	235	250	251	408	68	226	37	154	154	138	98	69	104	153										
172	学生実習等受入人数(診療放射線) (人)	118	0	110	465	500	0	0	0	0	60	240	0	76	472	439										
173	学生実習等受入人数(理学療法・作業療法・言語聴覚) (人)	2,228	756	1,679	1,884	1,646	202	170	262	250	235	204	121	291	163	237										
174	学生実習等受入人数(臨床工学) (人)	394	260	376	519	439	64	162	127	154	81	38	126	49	128	92										
175	学生実習等受入人数(栄養管理) (人)	132	138	160	154	177	210	100	216	220	200	40	40	20	0	20										
176	学生実習等受入人数(視能訓練) (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	390	160	96	68	38	75	19	122	61	172					
第2-2-(1) PDCAサイクルが機能する仕組みの構築及び法令遵守(コンプライアンス)の徹底																										
177	コンプライアンス研修等実施回数 (回)																					7	15	16.0	13.0	18.0
178	コンプライアンス研修受講率 (%)																					97.5	75.3	94.5	95.8	90.8
第2-2-(2) 市民病院間における情報連携体制の強化																										
179	情報セキュリティ訓練等実施回数 (回)																					21	11	8	3	8

目標値・関連指標一覧（令和元年度～令和5年度）

関連指標No.	項目	中央市民病院					西市民病院					西神戸医療センター					神戸アイセンター病院					法人本部					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
第3-1-1 (1) 【経営改善の取組みと経常収支目標の達成】中央・西・西神戸・アイ・法人本部及び法人全体																											
180	医業収支比率（％）（KPI）	実績	95.8	83.2	89.7	91.8	90.7	91.6	82.8	80.4	83.6	88.3	96.7	90.1	89.2	86.8	90.3	101.9	98.2	103.4	98.8	99.1	95.5	85.3	88.6	89.6	90.5
		目標値	96.7	97.1	90.3	93.1	86.0	91.9	95.2	84.4	86.2	83.4	98.4	99.1	91.5	91.8	86.8	94.3	98.1	98.1	99.0	96.4	96.3	97.3	89.9	88.0	86.1
181	経常収支比率（％）（KPI）	実績	99.4	101.0	109.2	109.4	96.3	98.0	104.3	110.3	105.9	90.7	100.1	100.3	100.2	98.9	92.8	106.1	100.5	105.4	100.5	100.8	99.6	101.3	107.0	106.1	94.7
		目標値	100.1	100.1	99.5	104.2	96.9	98.4	100.1	101.6	102.5	93.0	101.8	101.5	98.4	97.3	95.1	100.1	100.3	100.1	100.3	100.2	100.3	100.4	99.6	102.1	95.9
182	病床利用率（％）（KPI）	実績	91.0	68.5	76.4	82.9	85.0	88.8	73.5	67.0	71.8	79.3	90.0	78.4	75.2	73.0	80.1	74.9	67.3	78.0	71.1	72.7					
		目標値	92.6	93.0	76.0	83.7	85.9	91.5	90.8	77.3	75.7	80.4	91.8	91.0	83.0	81.7	81.7	71.0	78.2	78.4	79.7	75.4					
183	平均在院日数（日）（KPI）	実績	11.0	11.4	11.2	11.7	11.8	11.8	11.8	10.9	11.4	11.2	10.4	10.4	10.3	9.9	10.0	3.6	4.0	3.9	3.8	3.6					
		目標値	10	10.4	11.5	11.1	11.6	12	12.3	11.8	11.2	11.6	11	10.5	10.5	10.3	9.9	3.8	3.7	3.9	3.9	3.9					
184	新規患者数・入院（一般）（人）（KPI）	実績	22,742	16,497	18,719	19,496	19,738	9,363	8,013	8,016	8,223	9,279	13,498	11,704	11,304	11,389	12,459	2,306	1,866	2,179	2,035	2,200					
		目標値	23,789	23,941	18,173	20,500	20,297	9,333	9,651	8,484	8,777	9,046	13,541	13,326	12,408	11,941	12,771	2,070	2,300	2,170	2,362	2,123					
185	新規患者数・外来（一般）（人）（KPI）	実績	88,656	57,584	67,919	74,319	75,473	21,334	15,465	15,076	17,174	17,409	37,520	28,671	30,788	34,207	33,454	3,952	2,956	3,813	4,294	4,295					
		目標値	86,635	91,312	63,386	71,913	73,975	19,920	22,003	16,680	15,908	18,562	37,431	37,396	36,080	30,263	36,346	4,120	4,120	3,834	4,120	4,107					
186	単年度資金収支（病院ごと）	(百万円)	129	971	4,294	2,408	▲ 4,418	▲ 546	298	1,305	363	▲ 1,157	654	889	893	13	▲ 1,590	347	234	▲ 39	▲ 241	63	584	2,393	6,453	2,543	▲ 7,102
187	給与費比率	(%)	44.6	53.9	47.9	45.3	44.8	59.3	68.8	70.2	65.8	59.4	49.2	53.9	54.4	54.5	50.9	33.4	33.7	33.4	35.3	33.7	47.6	55.4	52.0	50.1	48.1
188	材料費比率	(%)	32.8	33.5	33.8	34.2	36.4	25.6	24.2	23.4	24.5	26.5	29.4	28.8	29.4	30.2	30.1	31.3	27.1	31.6	32.7	34.7	30.8	30.7	31.2	31.8	33.3
189	経費比率	(%)	19.3	23.4	20.7	20.7	21.0	17.0	20.9	22.9	21.3	19.7	19.6	21.9	21.6	23.2	22.7	17.0	17.1	17.2	17.1	18.0	19.0	22.4	21.1	21.3	21.1
190	運営費負担金比率	(%)	8.7	4.6	4.0	7.6	8.1	9.1	4.3	4.1	7.5	8.0	6.2	4.7	4.4	5.9	6.2	6.7	5.8	5.5	5.3	4.0	8.1	4.6	4.1	7.1	7.5
191	手術件数（入院・外来合計）	(件)	10,422	7,454	8,528	9,313	9,702	3,251	2,893	2,700	2,999	3,230	6,272	5,564	5,504	5,795	6,190	3,036	2,496	2,962	3,125	3,320					
192	患者1人1日当たり診療単価・入院（一般）	(円)	100,046	111,264	117,318	115,759	112,481	55,246	61,019	64,553	67,284	66,688	67,861	72,218	76,110	78,143	79,443	99,511	86,321	86,586	84,759	87,151					
193	患者1人1日当たり診療単価・外来（一般）	(円)	24,110	28,079	28,956	29,099	31,035	16,357	16,785	16,621	17,056	18,919	16,487	17,735	18,963	19,609	19,660	19,828	21,444	22,390	22,528	23,714					
194	査定減率・入院	(%)	1.13	0.91	0.84	0.93	1.09	0.53	0.41	0.31	0.31	0.43	0.64	0.50	0.51	0.40	0.40	0.10	0.06	0.05	0.04	0.03					
195	査定減率・外来	(%)	0.43	0.30	0.35	0.40	0.38	0.29	0.35	0.41	0.36	0.42	0.26	0.30	0.34	0.50	0.57	0.09	0.07	0.04	0.05	0.02					
第3-2-1 (1) 収入の確保及び費用の最適化																											
196	未収金額・現年	(百万円)	41	40	35	69	82	8	7	12	9	13	10	18	15	14	12	0	0	0	0	0	59	65	62	92	107
197	未収金額・滞納繰越	(百万円)	119	77	72	95	84	35	32	32	35	30	37	23	29	34	36	0	1	0	0	0	191	133	133	164	150
198	給与費比率	(%)	44.6	53.9	47.9	45.3	44.8	59.3	68.8	70.2	65.8	59.4	49.2	53.9	54.4	54.5	50.9	33.4	33.7	33.4	35.3	33.7	47.6	55.4	52.0	50.1	48.1
199	材料費比率	(%)	32.8	33.5	33.8	34.2	36.4	25.6	24.2	23.4	24.5	26.5	29.4	28.8	29.4	30.2	30.1	31.3	27.1	31.6	32.7	34.7	30.8	30.7	31.2	31.8	33.3
200	経費比率	(%)	19.3	23.4	20.7	20.7	21.0	17.0	20.9	22.9	21.3	19.7	19.6	21.9	21.6	23.2	22.7	17.0	17.1	17.2	17.1	18.0	19.0	22.4	21.1	21.3	21.1